

令和7年度第1回 水戸市飯富市民センター運営審議会

日 時 令和7年6月16日（月）午後1時30分

場 所 水戸市飯富市民センター 研修室

1 開会

2 あいさつ

3 協議

- (1) 令和6年度市民センター利用状況及び事業報告について
- (2) 令和7年度市民センター運営方針及び重点目標について
- (3) 令和7年度市民センター事業計画並びに関連事業について
- (4) その他

4 閉会

水戸市飯富市民センター運営審議会委員名簿

任期 令和6年4月1日～令和8年3月31日

役 職	氏 名	選出区分	備考（役職等）
会長	柏 清 隆	社会教育関係者	社会福祉協議会飯富支部長
	三田寺 敏男	市民活動団体	前飯富自治実践会体育部長
副会長	大木 宏子	社会教育関係者	保健推進員飯富支部長
	宮田 正子	社会教育関係者	民生委員・児童委員
	久野 勝敬	市民活動団体	飯富自治実践会総務・広報部副部長
	川村 美佳	学校教育関係者	飯富小学校長

水戸市飯富市民センター 職員名簿

職 名	氏 名
所長	久野 智之
会計年度任用職員	菌部 篤生
会計年度任用職員	斉藤 操
会計年度任用職員	小林 弘幸

参考：水戸市市民センター条例（抜粋）

（市民センター運営審議会）

第10条 センターの運営等に関する事項について、市長又は水戸市教育委員会の諮問に応じて審議するため、センターごとに市民センター運営審議会（以下「審議会」という。）を置く。

（組織等）

第11条 審議会は、市民活動団体の役職員、学校教育、社会教育及び家庭教育の関係者並びに学識経験者のうちから、市長が委嘱する6人以内の委員をもって組織する。

2 委員の任期は、2年とする。ただし、補欠により委嘱された委員の任期は、前任者の残任期間とする。

3 審議会に、委員の互選により会長及び副会長を置く。

4 会長は、審議会の会務を総理する。

5 副会長は、会長を補佐し、会長に事故あるとき、又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

（会議）

第12条 審議会は、会長が招集し、会長は、会議の議長となる。

2 審議会は、委員の2分の1以上の出席がなければ開くことができないものとし、審議会の議事は、出席委員の過半数をもって決し、可否同数のときは、議長の決するところによる。

協議

(1) 令和6年度市民センター利用状況及び事業報告について

(1) - 1 利用状況

令和6年度 飯富市民センター利用状況（令和6年4月～令和7年3月）

市民センター施設の 使用状況	区分（※1）		市民センター	社教団体	市	県	その他	合計	令和5年度
	ホール	件数		193	20	25	0	142	380
人数			2,045	674	515	0	1,476	4,710	4,792
和室	件数		1	1	1	0	8	11	11
	人数		2	4	7	0	36	49	63
会議室	件数		28	58	26	0	78	190	171
	人数		244	505	167	0	480	1,396	1,302
調理室	件数		19	0	0	0	1	20	29
	人数		275	0	0	0	15	290	353
図書室 (図書利用)	件数		0	0	0	0	0	-	-
	人数		0	0	0	0	2	2	2
累計	件数		241	79	52	0	229	601	596
	人数		2,566	1,183	689	0	2,009	6,447	6,512

センター外での 行事参加者数	※2 主催事業	件数	2					2	3
		人数	53					53	85
	※3 共催事業	件数	21					21	31
		人数	1,614					1,614	1,498
	累計	件数	23					23	34
		人数	1,667					1,667	1,583

合計	件数	264	79	52	0	229	624	630
	人数	4,233	1,183	689	0	2,009	8,114	8,095

(※1) 利用者内訳	○ 市民センター … 自主講座，定期講座，運営審議会 等 ○ 社教団体 … 高齢者クラブ，女性会，地区会，青少年育成会 等 ○ 市 … 水戸市関係部署（子育て広場，元気アップ等） ○ 県 … 茨城県関係部署 ○ その他 … 防犯協会，社会福祉協議会，民生委員，サークル 等
(※2) センター外主催事業	○ 移動学習（女性教養講座，長寿大学 等）
(※3) センター外共催事業	○ 市民センター・中学校交流事業，各種スポーツ大会，清掃活動 等

(1) - 2 事業報告

① 地域コミュニティ活動の推進

ア 飯富自治実践会ほか地域活動団体等の支援

a 飯富自治実践会

事業名	期 日	内容・場所・備考
クリーンアップ作戦（生活環境部）	5月12日（日）	各町内会へ依頼
花苗配布（生活環境部）	5月22日（火）	ペゴニア 参加4団体
総会	5月25日（土）	報告、決算、計画、予算 市民センター 参加68名（社協合同）
美しい環境づくり奉仕作業（生活環境部）	6月1日（土）	市民センター、だるま周辺の除草等 参加35名
北部ブロック春季球技大会（スポレク部）	6月2日（日）	ソフトボール、グラウンドゴルフは中止、ソフトバレーボールのみ開催
町内会長連絡会【新】（自治委員会）	6月15日（土）	市民センター
花苗配布（生活環境部）	6月18日（火）	サルビア・マリーゴールド・アゲラタム 参加15団体
小枝払い依頼（生活環境部）	6月23日（日）	各町内会へ依頼
地区野球大会（スポレク部）	6月30日（日）	飯富中校庭 参加4チーム
地区高齢者スポーツ大会（スポレク部）	7月1日（月）	安戸星緑地 グラウンドゴルフ 参加20人
花壇コンクール審査会（生活環境部）	7月5日（金）	現地、市民センター
ソフトバレーボール大会（スポレク部）	7月7日（日）	飯富中体育館 参加6チーム
那珂川水系クリーン作戦（生活環境部）	7月7日（日）	参加30名
市洪水ハザード避難訓練	7月28日（日）	飯富中 参加200名
SDGs ポスター・標語募集（生涯学習部）	8月	小中学校
地区バドミントン教室（スポレク部）	8月3日（土）	飯富中体育館
お父さんソフトボール大会（スポレク部）	8月18日（日）	田野市民運動場 参加2チーム
美しい環境づくり奉仕作業（生活環境部）	9月21日（土）	市民センター、旧だるま周辺の除草等 参加30名
SDGs ポスター・標語審査会（生涯学習部）	10月4日（金）	市民センター
第63回市民運動会（実行委員会）	10月13日（日）	飯富中校庭 参加450名
花壇コンクール表彰（生活環境部）	10月13日（日）	飯富中校庭 運動会閉会時
ミックスバレーボール大会（スポレク部）	11月10日（日）	飯富中体育館 参加4チーム
北部ブロック秋季球技大会（スポレク部）	11月17日（日）	グラウンドゴルフのみ実施
第43回飯富まつり（実行委員会）	11月24日（日）	飯富小校庭・体育館 参加500名

学区郷土かるた大会（生涯学習部）	1月25日（土）	市民センター 参加5チーム
ボウリング大会（スポレク部）	2月1日（土）	グリーンボウル 参加26名
合同視察研修	3月3日（月）	埼玉県深谷市 渋沢栄一記念館他
花苗配布	3月4日（火）	パンジー
広報配布事務委託費配布	3月6日（木）， 7日（金）	各町内会へ交付
「グリーンいいとみ」（総務・広報部）	年2回	各1,500部発行
各種事務支援	通年	

※事業計画中「ゴルフ大会」は中止

b 市社会福祉協議会飯富支部

事業名	期 日	内容・備考
総会	5月25日（土）	報告、決算、計画、予算 市民センター 参加68名（実践会合同）
福寿の集い	9月23日（月）	式典、アトラクション 市民センター 参加43名
ふれあいの集い	11月18日（月）	ひとり暮らし高齢者 参加40名（役員含む）
福祉のまちづくり懇談会 パートナー フォーラム	2月1日（土）	パネルディスカッション 参加49名
各種事務支援	通年	

c その他地域団体

町内会・自治会，防犯協会，女性会，女性防火クラブ，高齢者クラブ連合会，飯富小PTA，飯富中PTA，青少年育成会等）の事業支援及び協力

イ 飯富小学校，飯富中学校，県立水戸飯富特別支援学校への協力，共催

- 飯富中学校区学校運営協議会への参加（5月8日，10月29日，2月5日）
- 県立水戸飯富特別支援学校学校評議員会への出席（6月11日，2月6日）
- 県立水戸飯富特別支援学校防災連絡会議（10月31日）
- その他学校行事（まちたんけん等）への参加協力

② 生涯学習活動の推進

ア 定期講座

講座名	講師氏名	曜日	定員	受講人数	延人数
料理	床宿 美保	2・4月曜 AM	18	16	262
囲碁		1・3月曜 PM	15	8	102
詩吟・詩舞	戸崎 敏子	2・4火曜 AM	10	5	39
書道	木村 稔(春童)	1・3水曜 PM	15	9	146
歌謡	金沢 はるみ	1・3水曜 PM	20	14	246
卓球		2・4水曜 PM	20	18	255
スポーツ吹矢	渡辺 孝信	1・3水曜 AM	20	15	272
絵手紙 A	鯨 和子	2木曜 AM	15	7	49
絵手紙 B	鯨 和子	1木曜 AM	15	9	74
大正琴	萩谷 治美	1・3木曜 PM	15	8	108
歴史探訪	石島 久男	2木曜 PM	13	15	99
社交ダンス	作山 清	1・3金曜 PM	20	13	233
健康体操	長谷川 紀子	1・4金曜 PM	20	20	270

イ その他短期講座

a 飯富長寿大学 【高齢者教育】

対象 飯富地区内に居住する高齢者 (地区高齢者クラブ連合会共催)

期 日	内 容	参加人数
6月12日(水)	開講式 「竹笹の剪定」 講師 小田木 廣, 大津干城, 久野達也	16名
7月18日(木)	「竹箒, 雑巾づくり」 講師 小田木 廣, 大津干城, 久野達也	16名
10月10日(木)	移動学習(福島県いわき市方面) 白水阿弥陀堂, いわきマリンタワーほか	27名
12月19日(木)	講演 「憂きことを経て老年も美しい」 ～老馬の智を振りかざそう～ 講師 元中学校長 中川 實 閉講式	37名

b 子ども講座 【青少年教育】

対象 飯富小児童

期 日	内 容	参加人数
8月6日(火)	おもしろ理科先生「-196℃超低温の不思議な世界」 講師 稲野辺 滋 目的：地域の小学生が、各種体験活動を通して、理科に関する知識や教養を身に付けるとともに、将来の職業への興味関心をもてるようにする。異学年での交流を図ることにより地域の一員であることを再認識する。	30名
8月20日(火)	夏休み絵画教室「夏休みの課題を描く」 講師 木内茜里, 小沼蓮穂 目的 地域の小学生が、夏休み期間中に各種体験活動(絵画教室)に取り組み知識や教養を深める。 異学年での交流を図ることにより、地域の一員であることを再認識させる。	15名
12月25日(水)	お菓子作り教室 「クリスマスケーキを作ろう」 講師 軽部知美 目的 地域の小学生が、お菓子づくり体験活動を通して、お菓子づくりに関する知識や技能を身に付けるとともに、異学年での交流を図り、将来の職業への興味関心をもてるようにする。	9名

c 飯富女性教養講座 【女性教育】

対象 飯富地区内居住一般成人女性 (飯富女性会との共催)

期 日	内 容	参加人数
7月24日(水)	開講式 移動学習(小美玉市方面)イトウ製菓工場見学ほか	26名
11月13日(水)	創作「花時計の壁飾りとレジンのペンダント づくり教室」 講師 大久保なつみ, 赤沼真理	24名
2月12日(水)	運動「シニアリトミック」 講師 海野真奈美(リリー幼稚園専任講師) 閉講式	27名

d 家庭教育強化事業

○親子ふれあい体験教室「親子 de リトミック」(子育て広場事業との連携)

期 日 7月16日(火)

対 象 未就学児とその保護者

講 師 海野真奈美(リリー幼稚園専任講師)

参加者 21名

○親子ふれあい体験教室「クリスマス会」(子育て広場事業との連携)

期 日 12月17日(火)

対 象 未就学児とその保護者

講 師 海野真奈美(リリー幼稚園専任講師)

参加者 27名

○家庭教育講演会「小学校入学に当たっての心構え」

(飯富小新入学児童保護者説明会時)

期 日 1月31日(金)

対 象 飯富小新入学児童の保護者

講 師 比留間範之(元水戸市立城東小学校長)

参加者 16名

e 「地域学校協働活動」

○飯富中学校「飯富市民センター交流事業」

期 日 9月25日(水)

内 容 中学生が市民センターで活動している定期講座その他各種団体と一緒に活動(料理, 絵手紙, 囲碁, 大正琴, 歴史探訪, 卓球, グラウンドゴルフ, スポーツ吹矢)し交流する。

参加者 111名

○地域学校協働活動ニュース「こども おとな まなび いいとみ」の編集・発行

○支援を希望する学校と地域住民をつなぐコーディネート

③ その他

ア 子育て広場 第火曜日 10:00~11:30

(「参加者」は子の数)

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	計
参加者	0	1	2	11	-	3	2	2	14	1	3	4	43
ボランティア	3	3	3	8	-	3	4	3	11	3	3	3	47

イ 災害等への対応

a 大雨・台風等水害，地震等災害に係る避難所の開設
なし

b 各種防災訓練

○洪水ハザード内避難訓練

期 日 7月28日（日）

内 容 大雨による那珂川の洪水氾濫を想定に，浸水洪水想定区域内住民の避難訓練及び避難所体験，防災資機材の展示，自衛隊による土のう設置・ロープワーク訓練，装備品体験，マイタイムライン解説等

参加者 188名

○いっせい防災訓練（防災資機材展開訓練）

期 日 2月18日（火）

内 容 地震を想定した避難行動訓練を行う。また，市民センターに備蓄する防災資機材（簡易トイレ，段ボールベッド，簡易間仕切り，発電機）を組み立て展開する（飯富地区防災会とともに）。

ウ その他

その他施設環境及び部屋貸しについて

○敷地内除草委託（年2回 シルバー人材センター）

○照明灯補修工事

○漏水補修工事

○樹木剪定等環境整備

○手すり設置（購入検討 デモ設置中）

○施設予約システムの導入（令和7年4月利用分から）

(2) 令和7年度市民センター運営方針及び重点目標について

運 営 方 針

近年、人口減少社会や超高齢社会の到来をはじめ、都市化の進展、価値観の多様化、生活圏の拡大など、市民を取り巻く状況は大きく変化している。

こうした状況にあっても、市民が安心して暮らし、幸せを感じられる豊かな地域を形成していくためには、今後ますます地域コミュニティ活動と生涯学習活動の推進が必要となる。

市民センターにおいては、地域コミュニティ活動の拠点として、その継続や発展に向けた支援に努めるとともに、生涯学習活動の拠点として、その充実や成果を生かす環境づくりに努める。また、東日本大震災での経験や近年の台風大型化への警戒等を踏まえ、地域防災活動の拠点としての機能充実を図っていくものとする。

重 点 目 標

1 地域コミュニティ活動の推進

(1) 地域コミュニティ活動の活性化

ア 地域自らが地域の将来像や課題を共有し、特色のある地域づくりや課題の解決を進めることができるよう、地域コミュニティプランの実現に向けた取組への支援を促進し、住みよいまちづくり推進協議会を中心とした自主的な活動を推進する。

イ 各種コミュニティ団体等の活動を支援するとともに、NPO等との連携を促進しながら、よりよい地域づくりに向けた情報の共有化を進めるなど、地域コミュニティ推進体制の充実、連携強化を図る。

ウ 町内会・自治会への参加意識や自治意識の高揚を図るため、地域団体や関係機関と連携強化を図り、地域コミュニティ活動内容を積極的に発信するとともに、地区会の基盤である町内会・自治会の加入率の向上に努める。特に水戸市住みよいまちづくり推進協議会との協働により、「みと町内会・自治会カード」事業の更なる魅力の向上を図る。

エ 市民自らが意欲を持って地域活動に参加できるよう、一人一役運動を進めるほか、人材育成のための研修会を通して、地域を支えるリーダーづくりを推進する。

(2) 地域コミュニティ活動環境の充実

市民センターにおける様々な活動環境の一層の充実に向け、施設の利用状況や地域の実情等にあわせたコミュニティルームの積極的な利用を促進するとともに、長寿命化型改修の実施及び施設の利用者数や周辺の状況等を踏まえつつ狭あい駐車場の解消に努める。

また、各市民センターのホームページの中で、地域情報を積極的に発信し、それぞれの地域の魅力向上に努める。

(3) 地域防災活動との連携

災害発生時の初動対応については、地域における防災組織が重要な役割を担うものであることから、平常時より、地域での防災訓練への支援、地域における災害リスクや連絡体制の確認を

行うなど、地域における防災組織との連携を図る。

2 生涯学習活動の推進

(1) 学習機会の充実

生涯学習活動の拠点施設である市民センターにおいては、どのような状況下でも学びを止めることなく、「個人の要望」する学習による生きがいづくりを進めるとともに、家庭教育への支援や青少年の健全育成、少子・高齢化への対応などの「社会の要請」に応じた現代的課題を取り扱った学習機会を提供する。

そのため、水戸市における生涯学習事業を総称した「みと弘道館大学」に位置付けた、一般教養講座や定期講座を開催するとともに、みと好文カレッジにおける事業を活用しながら、市民のライフスタイルに定着し、生涯にわたって学び続けることができるよう、学習機会の充実に努める。

ア 市民ニーズを捉えた学習機会の提供

市民の学習ニーズを把握し、健康で生きがいのある充実した人生を送ることができるよう、生涯学習のきっかけづくりを図るとともに、それぞれの世代に合った学習機会の提供に努める。

イ 現代的課題を取り扱った講座の開催

変化の激しい社会情勢に対応していくため、成人学級、高齢者学級等の講座に現代的課題を取り扱ったテーマを組み入れるなどの手法により、地域課題を主体的に捉える学習機会の充実に努める。特に、デジタル・ディバイド解消のため、高齢者等に向けたICTリテラシーを身につける講座の充実に努める。

また、地域団体と市民センターが一体となった協働事業を積極的に展開する。

ウ 家庭教育や子育てを支援する講座等の開催

家庭は、子どもが基本的な生活習慣、生活能力、人に対する信頼感、豊かな情操、思いやりや善悪の判断、自立心や自制心、社会的なマナーなどを身につける上で重要な役割があることから、家庭教育について考える機会を提供するため、学校等における家庭教育学級や家庭教育講演会を開催する。

また、未就園児の保護者が家庭教育について学び、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援するため、家庭教育強化事業を実施する。

(2) 学習の成果を生かす環境づくり

生涯学習の成果がボランティア活動や地域づくりに生かせるよう、地域人材の発掘・育成を行い、地域の活性化や特色あるまちづくりに生かしていくための環境づくりを進める。

ア 地域資源の活用推進

市内には、歴史的な資産や史跡をはじめ博物館、歴史館などの文化施設、学校や大学などの物的資源やそれぞれの施設に所属する職員などの人的資源があり、豊かな地域資源に恵まれている。このような地域にある資源を活用した事業を開催するとともに、生涯学習の振興に取

り組む機関や団体との連携を図りながら、地域資源の有効活用を推進する。

イ 学習の成果を発表する場の創出

市民センターを会場に開催している講座の展示会や発表会など、生涯学習の成果を発表する場を創出することにより、学習者同士や参加者との交流を拡大させ、新たなネットワーク構築に努める。

ウ 学習の成果を地域活動に生かす仕組みづくり

生涯学習の成果をボランティア活動や地域活動に生かすことが、地域の活性化に大いに役立つものと期待されている。市民センターで学んだ市民が、その成果を地域コミュニティ活動につなげられるよう、人材の育成と活用に努める。

エ 事業評価に基づく事業の推進

市民センターの講座や事業に参加した市民が日常生活の中で生涯学習の成果をどのように生かし、また、地域の中でどれだけ活動に関わっているのかなど、事業の成果を検証することが求められている。

市民センターにおいては、実施した講座や事業について自己評価を行うとともに、自己評価をもとに、運営審議会等第三者機関による検証を行い、効果的な事業運営を図る。

(3) 家庭・地域・学校の連携の強化

家庭・地域・学校が目標や課題を共有し、それぞれが連携して対応策について取り組む体制を構築し、地域社会全体の教育力の向上を図ることができるよう、市民センターにおいては、それぞれをつなぎ結ぶ地域拠点施設としての機能充実に努める。

ア 次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む

地域、学校と連携を図りながら、様々な形で異なる世代での交流や大人と接する事業など、子どもたちが地域活動に参加する場を提供し、地域社会全体で次代を担う子どもたちの「生きる力」を育む活動の推進に努める。

イ 社会全体で支える家庭教育

子どもたちが健全に成長していくためには、良好な家庭環境や社会環境を整える必要がある。そのために、家庭の教育力の向上だけでなく、地域の人的資源を子育て支援事業や学校活動支援事業に活用し、家庭教育を地域社会全体で支える仕組みづくりに努める。

(3) 令和7年度市民センター事業計画並びに関連事業について

① 地域コミュニティ活動の推進

飯富自治実践会，各町内会・自治会，市社会福祉協議会飯富支部，飯富小 PTA，飯富中 PTA，飯富地区青少年育成会，女性会，女性防火クラブ，高齢者クラブ連合会その他社会教育団体や地域団体に対する協力・支援を行う。

その他各種団体相互の連携に関する事項並びに各種実行委員会を設置する事業（市民運動会，飯富まつり等）に関する協力・支援を行う。

② 生涯学習活動の推進

ア 定期講座

講座名	講師氏名	曜日	定員	継続希望	受講人数
料理	床宿 美保	2・4月曜 AM	16	15	17
囲碁		1・3月曜 PM	12	8	8
詩吟・詩舞	戸崎 敏子	2・4火曜 AM	10	2	4
書道	木村 稔（春童）	1・3水曜 PM	15	8	8
歌謡	金沢 はるみ	1・3水曜 PM	20	13	14
卓球		2・4水曜 PM	17	16	17
スポーツ吹矢	渡辺 孝信	1・3水曜 AM	20	15	14
絵手紙 A	鯨 和子	2木曜 AM	10	5	6
絵手紙 B	鯨 和子	1木曜 AM	15	9	9
大正琴	萩谷 治美	1・3木曜 PM	10	8	5
歴史探訪	石島 久男	2木曜 PM	17	15	11
社交ダンス	作山 清	1・3金曜 PM	20	12	12
健康体操	長谷川 紀子	1・4金曜 PM	21	20	21

イ その他短期講座

a 飯富長寿大学 【高齢者教育】

目的 「高齢者の生きがい，仲間づくりを推進するとともに，現代的知識の向上を図り，幅広い交流を通し明るく楽しい社会生活を送ることを目的とする。」

対象 飯富地区内に居住する高齢者（地区高齢者クラブ連合会共催）

計画 年度内3～4回（講演会，移動学習，創作等）

期 日	内 容	参加予定人数
6月19日(木)	開講式 「竹笹の剪定」 講師 小田木 廣, 大津干城, 久野達也	20名
7月23日(水)	「竹箒, 雑巾づくり」 講師 小田木 廣, 久野達也	20名
10月(未定)	移動学習	30名
12月(未定)	講演 閉講式	40名

b 子ども講座 【青少年教育】

対象 飯富小児童

期 日	内 容	参加予定人数
8月5日(火)	「おもしろ理科先生」 講師 稲野辺 滋	20名
8月19日(火)	「夏休み絵画教室」 講師 小沼蓮穂, 木邑友昭	30名 (低・高各15)
12月24日(水)	「お菓子作り教室」 講師 軽部知美	9名

c 飯富女性教養講座 【女性教育】(飯富女性会と共催)

目的 「急激な社会環境の変化の中で、生涯学習の一助として、女性の生きがいを見だし、健康で明るい家庭づくりと地域づくりに役立てるとともに、受講生相互の親睦と融和を図ることを目的とする。」

対象 飯富地区内居住一般成人女性 (飯富女性会との共催)

期 日	内 容	参加予定人数
7月17日(木)	開講式, 「移動学習」 キューピー(株)五霞工場ほか	30名
10月29日(水)	創作「ポーセリンアート講座」 講師 大澤喜代子, 根本ゆかり	30名
2月4日(水)	「シニアリトミック」 講師 海野真奈美	30名

- d その他短期講座
スマホ体験講座 実施検討中

ウ 家庭教育強化事業 ←「茨城県家庭教育を支援するための条例（平成28年）」

目的 「幼少期の家庭教育は、その後の学校教育や社会生活において極めて有用であり、全ての教育の出発点であることから、市民センターにおいてもその重要性を鑑み、未就学児の保護者が地域のなかで家庭教育についての学び、また保護者同士の交流により、各家庭が家庭教育に自主的に取り組むことができるよう支援する。」

対象 未就学児保護者

計画 年2～4回 講話，リトミック，創作等

※子育て広場との連携，小学校新入学児童説明会との連携 等

※輪番により飯富市民センターが担当する北部ブロック事業を含む

エ 「地域学校協働活動」に関する事業

目的 幅広い地域住民等の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動を行う。地域全体で地域の学校や子どもたちを支援し、併せて生涯学習の一環であるボランティア活動をとおして、地域住民同士がつながりあい、地域が活性化することを目指す。

計画

a 飯富中学校「飯富市民センター交流事業」

期 日 9月17日（水）

内 容 中学生が市民センターで活動している定期講座その他各種団体と一緒に活動（料理，絵手紙，囲碁，大正琴，歴史探訪，卓球，グラウンドゴルフ，スポーツ吹矢など）し交流する（今後詳細協議）。

b 地域学校協働活動ニュース「こども おとな まなび いいとみ」の編集・発行

c 支援を希望する学校と地域住民をつなぐコーディネート

③ その他

ア 子育て広場（子ども課） （継続） 毎月第3火曜日

イ いきいき健康クラブ（保健推進員）（継続） 毎月第2金曜日

ウ 子どもスペースの開設

a 事業概要

目的 市民センター内に小学生の放課後の居場所を確保し、子どもを育む環境づくりに資する。

担当課 子ども政策課

開設日 月～金曜日 15時～17時（冬期（10～2月）は～16時30分）
（長期休業期間中は9時～17時（冬期（10～2月）は～16時30分）

開設場所 コミュニティルーム（市民サロン）

※今後の利用者の状況により和室を検討

利用者 小学生及び中学生

利用目的 読書，勉強，談話，ゲーム

安全管理 入室時事務室声掛け（氏名等記入受付），随時職員見守り

b その他

- ・既に7市民センターにおいて先行開設済。1日平均0～3人程度。
- ・令和7年度中に全市民センターで開設する（7月22日より）。

エ 防災に関する事業

a 令和7年度水戸市洪水ハザード避難訓練

目的 浸水想定区域内の全住民を対象とした避難訓練を実施し、避難する意識を定着させる。

日時 令和7年6月29日(日)8:00～12:00

対象 市内洪水浸水想定区域内住民

概要 午前8時35分 「高齢者等避難（レベル3）」、午前9時05分
「避難指示（レベル4）」がラジオ，防災無線，SNS等で発令

→参加者は避難行動をとり，指定避難所（推奨避難所）である飯富中学校体育館へ避難

→防災資機材等の展示を見学・体験し，市防災・危機管理課職員による説明後解散

※ 岩根地区の希望した方について，別途茨城県による「双方向情報伝達システム」の実証実験が行われる。また消防団により避難呼び掛けの巡回が行われる。

- b いっせい防災訓練
期日等未定

(4) その他

- ・ 指定暑熱避難施設（クーリングシェルター）の登録
熱中症対策に係る市民センターサロン（平日日中）開放
- ・ 次回会議 令和8年2月頃